

きょうと地域連携交付金 自己評価調書(令和5年度分)

団体名: 亀岡市

(千円)

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)	交付金 充当額	事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
1	地域づくり連携 推進事業	防災	自主防災会活動助成金支給事業	各町自主防災会が行う各種防災活動及び資機材の更新に係る経費の一部を助成することで、自主防災会活動の拡充を支援する。	2,194	1,097	・自主防災会活動助成金:465,274円 (15団体19件) ・自主防災会資機材補助金:1,729,000円(13団体17件)	成果指標「地域防災力の強化」に対し、自主防災会活動の円滑な実施のため防災訓練等に係る費用の助成や老朽化している資機材等を更新することで地域防災力の向上を図ることができた。
2	地域づくり連携 推進事業	防災	防災士養成事業	「自助」「共助」「協働」を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待される「防災士」の資格取得を促進することにより、多くの市民が高い防災意識と専門的な知識・技能を身につけ、災害時における市民対応力の強化を図る。	358	179	令和5年11月11・12日の2日間にわたり、「令和5年度亀岡市防災士養成講座」を実施し49名が参加した。	成果指標「認証防災士(200人)」に対し、49人が防災士の資格を取得し、亀岡市在住の認証防災士数は令和6年2月末時点で174人となった。
3	地域づくり連携 推進事業	子育て応援	木育ひろば事業	令和5年4月にオープンした全天候型屋内遊び場施設木育ひろば「KIRI no KO」において、亀岡市民(未就学児世帯)を対象に無料券を配布する事業を実施する。また、運営に係る経費に対して支援を行う。	16,571	8,285	入場者数:68,710人 無料券使用枚数:5,442枚	平日無料券の配布により延べ5,442枚の利用があった。施設利用者からは好評で、子育てと子育ての場としての一定の役割を果たした。
4	地域づくり連携 推進事業	環境	プラスチック資源化業務	令和5年度からごみの分別拡大を行い、容器包装プラスチックに加え製品プラスチックも資源物として指定法人に引き渡し再商品化する委託業務を開始する。 プラスチックの資源循環を通じて、ごみの減量・焼却処理の減による脱炭素化が期待できる。	10,794	5,398	プラスチック資源化量 容器包装プラスチック:803,136kg 製品プラスチック:200,784kg	令和4年度回収量:758.97kg 令和5年度回収量:941.25kg 約24%回収量の増加により埋立ごみを削減できた。
5	地域づくり連携 推進事業	環境	小型金属類再資源化事業	令和5年度より埋め立てごみの削減のため、家庭ごみの分別拡大を実施し、新たに小型金属類の収集を開始する。 エコトピア亀岡に搬入された埋立てごみから、小型金属類などのリサイクルできるものをピックアップして資源化する中間処理施設を活用することで、資源化率の向上に取り組む。	976	426	R5年度より小型金属類の収集を開始。 本事業による資源化量:1,710kg 選別した小型金属類は売払を実施。 本事業による売払額:13,167円	当該事業により、埋立てごみの削減に効果を得られた。 R4埋立て量:約534,060kg R5埋立て量:約391,680kg ※その他事業と合わせた効果である。
6	地域づくり連携 推進事業	環境	木質系廃棄物資源事業	これまで、剪定枝等は収集後破砕機にかけ、その後焼却処分していたが、令和5年度より家庭ごみの分別拡大を実施し、資源ごみとして草・木類の収集を開始する。また収集後は、木質系粗大ごみ及び剪定枝等をウッドチップにして再資源化することで、ごみの減量化と資源化率の向上に取り組む。	7,185	3,592	本事業による資源化量:313,490kg	当該事業により、燃やすごみの削減に効果を得られた。(家庭より収集したごみに限る) R4燃やすごみ収集量:約12,521t R5燃やすごみ収集量:約10,985t ※その他事業と合わせた効果である。
7	地域づくり連携 推進事業	環境	ペットボトル水平リサイクル事業	回収したペットボトルを再びペットボトルとして再利用する「ボトル・トゥ・ボトル(BtoB)リサイクル事業」(ペットボトル水平リサイクル事業)を開始している。 ペットボトルの資源循環を通じて、ごみの減量・焼却処理の減による脱炭素化が期待できる。	4,274	722	本事業による資源化量:141,440kg 選別したペットボトルは売払を実施。 本事業による売払額:2,828,800円	令和4年度と比較し、ペットボトルの資源化率の上昇に効果を得られた。 R4ペットボトル資源化量:約123,600kg R5ペットボトル資源化量:約141,440kg。
8	地域づくり連携 推進事業	地域・産業創造	産学官連携事業	京都先端科学大学亀岡キャンパスを核に、大学が保有している資源(知識、設備、技術、研究等)を、多くの企業に利用いただくことで、先端技術による産業イノベーションやバイオ技術による農業の高付加価値化を支援し、市内企業の活性化、及び企業発展に寄与することで、市内経済の活性化につなげていく。	119,133	10,000	グリーンイノベーション分野での取組としてスマートアグリハウスを新設し、農業の高付加価値化を支援する基盤整備を行った。また、施設の利用促進及び意見交換を目的として、延べ176回の企業・団体訪問及び来訪があった。	企業向けセミナーとして座談会を4回、マーケティングセミナーを3回、現経営者や後継者を対象としたアトツギセミナーを1回開催し、企業とのコミュニケーションを図り、課題の可視化・解決策の共創に務めることができた。

9	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	川の駅・亀岡水辺公園関連事業	令和3年度に設置条例を制定し、令和4年4月1日から施行となった川の駅・亀岡水辺公園において、指定管理者による民間ノウハウを活用した魅力あふれる事業運営を図る。また、桂川舟運歴史・文化の展示、アウトドア体験、環境学習など多様な施設活用により、新たな観光拠点として、地域のにぎわいを目指す。	4,875	2,437	・キャンプ場の年間利用件数 市内150件、市外153件 ・展示室の年間利用件数 市内227件、市外4件	成果指標「利用者数(目標数300人)」に対して、令和5年度の利用者数は5,432人と好調であり、地域の賑わい創出を促進することができた。
10	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	障がい児保育事業	民間保育園等における障がい児保育の充実と児童の健全な発達を助長するため、障がい児の保育に要する経費に対して支援を行う。 ①特別児童扶養手当の受給児童を入所した場合、児童一人につき、一か月あたり100千円を交付 ②身体障がい者手帳等の交付を受けている身体障がい児など支援を要する児童を入所した場合、児童一人につき、一か月あたり30千円を交付	29,700	14,760	【R5交付実績】 ①9人:9,000千円 ②65人:20,700千円	民間保育園等あわせて9園が障がい児保育を実施され、その支援を行ったことにより、安心して子育てができる環境づくりの一助となっている。
11	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	保育人材確保推進事業	民間保育園等が、様々なニーズに対応し健全な保育運営を行えるように支援する。 ①保育士就職奨励金事業(保育施設が保育士を新規採用した際に、就職奨励金を交付する。) ②保育士等処遇改善事業(保育所等における保育の運営を支援する。)	78,800	39,400	【R5交付実績】 ①7園:3,800千円 ②9園:75,000千円	各園に対する運営支援を行うことにより、安定した事業運営がなされている。R5年度の新規採用保育士の人数は18人で、全国的に保育士が不足する中で、一定の成果を上げた。
12	地域づくり連携推進事業	文化の力	かめおか霧の芸術関連事業	かめおか霧の芸術祭をプラットフォームとして、亀岡ゆかりの芸術家や地域の各種団体、農家や事業所など多くの人々と連携して、環境や農業、商工・観光などの地域課題に文化芸術の力を活かして取り組むことで、従来の行政にはなかった効果的な解決を図り、魅力あるまちづくりを推進する。	21,000	6,426	・開かれたアトリエ展覧会 年間:7企画、来場者数:8,691人 ・城跡芸術展 来場者数:4,300人 ・ボンボンマルシェ 年間:3回、来場者数:4,200人	文化芸術活動に興味があるコア層だけでなく、ライト層も参加しやすい企画を充実させたことで、かめおか霧の芸術祭の参加者数が増加し、市民の文化力向上につながった。
13	地域づくり連携推進事業	その他	バス交通関連事業	【事業目的】 コミュニティバス(亀岡地区、篠地区)は市内中心部を運行する路線として、沿線地域の通勤・通学や通院、買い物などの日常生活を支える役割を担っており、このバス交通の維持や利便性の向上等を推進し、地域に根ざした持続可能な公共交通の実現を図る。 また、京都サンガF.C.の活躍に伴い、より多くの交通需要が見込まれる中、バスの運賃を無料にする「市民ノーマイカーDay」の実施により市内交通渋滞の解消を図る。 【事業内容】 京阪京都交通(株)へ委託。 運行必要費用から、運送収入額を差し引いた額を委託料として算出。	30,136	15,068	・亀岡地区コミュニティバス 1日26便運行、利用者数68,114人 ・篠地区コミュニティバス 1日20便(平日)／14便(土休日)運行、利用者数32,349人 ・市民ノーマイカーDay 実施日数6日、利用人数14,826人	コミュニティバスの運行により、沿線地域の通勤・通学や通院、買い物などの日常生活を支え、地域住民の社会活動の向上を図った。 また、市民ノーマイカーDayの実施により、J1で活躍する京都サンガF.C.のホームゲーム開催による市内交通渋滞の抑制を図った。
14	地域づくり連携推進事業	交流と連携	英語教員の指導力向上推進事業	【事業目的】 教員の英語力等の向上及び、グローバルな視点を持つ教員の育成を推進し、児童・生徒に対する英語学習・教育の充実を図る。 【事業の内容】 オクラホマ州立大学において実施される約3週間の研修カリキュラムに参加し、英語学習、演習及び実践等を行う。また、現地での文化体験学習や現地教員との交流・研修会にも参加する。	3,631	1,815	小学校教員6名が7月下旬から3週間オクラホマ州立大学の主催による英語教員向け研修プログラムに参加。研修後は参加者が講師となり、教員に対して、外国語活動や外国語の授業づくり講座を実施。	実際に現地を訪問することにより、異文化体験とともに英語教育について学ぶことができ、日本で行っている授業実践の再確認もすることができた。また、参加者が講師となり、講座を実施することにより、市内の英語教育の充実を図ることができた。
15	地域づくり連携推進事業	災害・犯罪からの安全	学校安全対策委員配置事業	【事業目的】 小・中学校(義務教育学校含む)への不審者などの侵入を防ぎ、児童・生徒の安全・安心を確保するため、地域との連携強化のもとに、教育環境の整備充実を図る。 【事業の内容】 各学校に地元の方を学校安全対策協力員として配置し、地域の人材を活用して地域ぐるみで学校の安全対策事業の実施。	17,922	8,961	学校開校日に各学校1人から2人の学校安全対策協力員を配置	学校安全対策協力員を小・中学校(義務教育学校含む)へ配置し、校門での外来者受付や見回りなどを行い、児童・生徒の安全・安心を確保することができた。

16	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	人型ロボット活用事業	<p>【事業目的】 「何を学ぶか」ではなく、「どのように学ぶか」を主眼に、人型ロボットを配備し、ともに考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれるような授業内容等の充実を図る。</p> <p>【事業内容】 人型ロボットの機能を活かし、英語学習、環境学習等の充実、児童間のコミュニケーションツールとしての活用を行う。</p>	5,514	2,756	各小学校・義務教育学校及び適応指導教室へ人型ロボットを合計19台配備し、英語学習、環境学習等の充実、児童間のコミュニケーションツール等として活用した。	人型ロボットの活用を通して、英語に親しみ、英語への関心を高める機会とするとともに、保津川等の自然環境について深く考え、環境意識の醸成を図るなど、英語学習や環境学習において授業内容の充実を図ることができた。
17	地域づくり連携推進事業	環境先進地	資源化推進事業	<p>○減量・資源化等推進事業費補助金 生ごみ処理機などを活用し、より一層のごみ減量化を図るとともに、環境にやさしい暮らしを目指す。</p> <p>○資源ごみ集団回収報奨金 ごみの減量及びリサイクル意識の向上を図るため、資源ごみの集団回収を実施いただいた団体に対し、報奨金を交付する。 また、令和5年度から報奨金の交付金額を回収量1キログラムあたり4円から5円に増額し、更なるごみの減量化と資源の循環を目指す。</p>	10,230	5,115	<p>交付実績 生ごみ処理機 10件 197,500円 生ごみ処理容器 12件 44,000円 集じん箱 76件 1,848,000円</p> <p>資源ごみ集団回収報奨金 団体 延べ471団体 交付金額 8,141,075円</p> <p>ごみの削減と資源化に寄与した。</p>	<p>集団回収報奨金により、資源ごみの削減を図ることができた。 <ごみの削減量> 新聞 825,940kg 雑誌 401,010kg 段ボール 322,840kg 布 78,425kg 合計 1,628,215kg</p>
18	地域づくり連携推進事業	交流と連携	京都・亀岡バルーンフェスティバル事業	<p>《事業概要》 実施主体：京都・亀岡バルーンフェスティバル実行委員会 1 熱気球競技飛行 選手による熱気球の競技飛行が鑑賞できます。 2 熱気球係留・体験搭乗 約15～20m上空まで、熱気球の搭乗体験ができます。 3 熱気球教室 間近で熱気球を見ながら、熱気球の構造・歴史・原理が学べます。 4 ecoマルシェ おいしいものいっぱい！マルシェでグルメが楽しめます。 5 バルーンイリュージョン 光輝く幻想的な熱気球がご覧いただけます。</p>	10,000	5,000	R5年度 観客数 累計 18,500人 2月23日 (AM, PM) 8,500人 2月24日 (AM, PM) 10,000人 2月25日 (降雨のため中止)	運営主体を市民組織として実施したことにより、市民交流の場の活性化を図ることができた。
19	地域づくり連携推進事業	その他	観光振興、文化の継承、環境保全に真摯に取り組む保津川下り応援事業	来訪者に安心・安全に保津川下りを体験頂ける体制づくりを支援するとともに、本市の地域観光資源である保津川の歴史文化や環境等、多様な観光コンテンツを通じた地域の賑わい創出を図る。	20,000	10,000	従来の腰巻救命胴衣を廃止するとともに、肩掛け型自動膨張式救命具等を約1,500着導入し、緊急時における保津川下り利用者の安全確保体制が強化された。また、緊急時に消防や警察等関係機関に迅速な救助要請を行うため、GPS機能付き無線機やトランシーバーが導入された。	成果指数「観光入込客数(R5:2,770,000人以上を見込む)」に対して、令和5年度の観光入込客数は2,773,307人であった。
20	行政サービス改革推進・小規模市町村支援事業	その他	AI議事録作成	委員会等の会議開催後に作成する議事録作成業務に膨大な作業時間を要している現状を踏まえ、AIを活用した音声認識文字起こしソフトを導入して庁内に貸し出しを行い、業務量の効率化・時間外勤務の削減を図る。	1,067	222	年間貸出回数：197回	議事録作成業務における自動化による効果は高いため、今後も引き続きソフトウェアの運用を続け、業務の効率化に務める。
21	行政サービス改革推進・小規模市町村支援事業	その他	業務の自動化推進	総務省が策定している「自治体DX推進計画」を踏まえ、AI-OCRやRPAの利活用による行政事務の自動化・効率化を図る。	3,008	1,504	RPA運用：計21業務 自動化による手作業時間の平均削減率：55.7% 自動化による手作業時間の削減時間計：1025.1時間	RPAによる定型業務の自動化については業務時間の削減について効果が得られているため、今後も更なる運用を継続していく。